

## 新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	精神科外来診療における早期服薬アドヒアランスパターンと臨床転帰との関連：電子診療情報を用いた後方視的観察研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2007年10月1日から2025年10月31日までの間に、まことクリニック 精神科外来を受診し、向精神薬の処方を受けた患者さんを対象としています。
③概要（※研究の概要ではなく、研究対象者が同意・不同意するための判断材料として必要な情報を概要として記載してください。）	<p>本研究では、精神科外来診療における服薬状況と治療経過との関連を調べます。診療録（カルテ）や処方記録など、通常診療の中で既に取得されている情報を用いて解析を行います。そのため、本研究のために新たな検査や診察をお願いすることはありません。</p> <p>本研究では、服薬が安定して継続されているかどうかと、治療経過との関連を検討します。</p> <p>この研究への参加を希望されない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究への参加を拒否された場合でも、通常の診療において不利益を受けることは一切ありません。</p> <p>なお、研究対象者が未成年の場合は、ご本人またはご家族（保護者）からのお申し出により、解析対象から除外します。</p>
④申請番号	2026-0065
⑤研究の目的・意義	<p>精神科治療では、処方された薬を継続して服用することが重要と考えられています。しかし、実際の診療では、服薬状況が時間とともに変動することも少なくありません。</p> <p>本研究では、実際の診療データを用いて、服薬状況と治療経過との関連を調べることで、今後の精神科診療における治療継続支援や再発予防に役立つ知見を得ることを目的としています。</p>
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2027年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>本研究では、診療録、処方情報、症状評価尺度などの既存診療情報を利用します。</p> <p>取得した情報は、氏名や患者IDなどの個人を特定できる情報を削除し、研究用番号に置き換えたうえで解析を行います。</p> <p>解析は新潟大学において実施されますが、個人が特定できる情報が外部に提供されることはありません。</p>
⑧利用または提供する情報の項目	年齢、性別、診断名、処方薬剤情報、処方日、通院期間、通院距離、症状評価尺度（QIDS等）、臨床転帰
⑨利用する者の範囲	新潟大学医歯学総合病院精神科 研究責任者：恩田 啓伍

④ 試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学医歯学総合病院精神科 助教 恩田 啓伍
④ お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学医歯学総合病院精神科 氏名：恩田 啓伍 Tel：025-227-2213 E-mail：onda@med.niigata-u.ac.jp